

大会名：第51回全日本実業団男子ソフトボール選手権大会 大阪予選会

代表決定戦

会場：守口市 市民球場

試合日：平成23年 4月 17日 試合No、1

試合戦評

帝人大阪研究センター近畿大会代表決定戦へ ！

帝人大阪研究センターは、先攻された3回表、先頭打者から3連続安打を含む4安打で2点を挙げ逆転した。5回には高のランニング本塁打も出て、7回まで12安打7点を挙げ代表決定に向け勝利した。

一方佐川急便も5回裏、土井の三塁打などで1点差まで追いついたが、白石投手を攻め切れず敗れた。

記者 平井名敏子

代表決定戦

試合No、2

試合戦評

岡住 谷投手完封で近畿予選会へ ！

岡住は初回、一死満塁の好機に小松の適時二塁打で3点を先制すると、3回にも追加点を挙げ4回には代打細川の3点本塁打などで試合を決めた。投げては谷投手が6奪三振の好投を見せ勝利に花を添えた。

一方佐川急便関西は、畑田投手が2試合連投の疲れから岡住に打ち込まれた。

記者 岸本 博

代表決定戦

試合No、3

試合戦評

帝人大阪研究センター 2年連続代表決定戦制す ！

帝人大阪研究センターは、初回に柿谷のランニングホームランで1点先取したが、両チーム共3回まで1点ずつを取り合い息詰まる攻防を展開していたが、帝人は6回に古塚の左翼越え本塁打で3点を加点し試合を決めた。

岡住は、3回まで互角に試合を進めたが、後半走者を出すも、相手投手に抑えられた。

記者 宮 妙子